

防災・減災対策等への支援

奈良県における取組

【担当省庁】 内閣官房、総務省

<現状と課題>

- 県民の生命および財産を守るため、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震や、気候変動の影響による気象災害の激甚化・頻発化への備えが、喫緊の課題
- 大規模な災害への備えとして、老朽化対策も含め、道路ネットワークの強靱化や土砂・水害対策などを推進 **<5か年加速化対策等※の予算を積極的に活用>**

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、「緊急防災・減災事業債」、「緊急自然災害防止対策推進事業債」、「緊急浚渫推進事業債」



しかしながら、予想を上回る速度で気候変動の影響が顕在化していることなどから、より一層、国土強靱化の取組を加速していかなければならない

<参考> 第2期奈良県国土強靱化地域計画（第4章 強靱化施策の推進方針抜粋）

地震への備え	風水害等への備え
<p>【想定するリスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南海トラフ巨大地震、奈良盆地東縁断層帯の地震 など ⇒ 南海トラフ沿いの地域におけるM8～M9の地震の30年以内の発生確率が70～80%であり、発災時には沿岸地域への避難救助も必要 	<p>【想定するリスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大和川の洪水、紀伊半島大水害 など ⇒ 平成29年台風第21号や平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風など、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化
<p>● 広域防災拠点の整備</p> <p>● 道路ネットワークの強靱化</p> <ul style="list-style-type: none"> - 京奈和自動車道や国道168号、国道169号などの骨格幹線道路ネットワークや、安全・安心を支える道路のネットワーク整備 - 道路路面の安全対策や橋梁の耐震化対策 <p>● 耐震補強と予防保全型インフラメンテナンスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> - 社会資本施設の耐震化や老朽化対策の着実な推進 - 下水道施設の老朽化対策及び重要な施設の耐震化の推進 - 奈良県耐震改修促進計画に基づく住宅・建築物の耐震化の促進 	<p>水害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大和川の氾濫を防ぐ大和川直轄遊水地の整備 ● 100年に1度の大雨にも耐えられることを目標とする「奈良県平成緊急内水対策事業」の推進 ● 河道内樹木の伐採や堆積土砂撤去による流下能力の改善 <p>土砂災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土砂災害から24時間利用の要配慮者施設や代替性のない避難所を優先的に保全 <p>二次災害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化対策や耐震化の着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> - ダム、堰堤等の老朽化対策の推進 ● 防災重点ため池の機能診断調査や改修整備 ● 治山事業による荒廃森林の復旧と林地の保全 ● フォレスターアカデミーでの奈良県フォレスターの養成等による新たな森林環境管理の推進

<現在の取組>

■ 大規模災害に備えるために策定した「第2期奈良県国土強靱化地域計画」に基づき、防災・減災、国土強靱化の取組を進める。

- ① 災害対応力を強化するため広域防災拠点の整備を含む土地活用を検討
 - ・ 令和4年度にゴルフ場の用地を取得
 - ・ 現況から防災機能を発揮することを、「奈良県地域防災計画」に位置づけ



令和4年度に取得したゴルフ場の用地（五條市）

- ② 安全・安心を支える道路のネットワーク整備等



一般国道168号（香芝王寺道路）（香芝市）
地方創生、国土強靱化等のため、県土の骨格を形成する道路整備を推進

- ③ 奈良県平成緊急内水対策等の流域治水対策



内水対策のため流域貯留施設を整備（王寺町）



国にお願いすること

- 緊急防災・減災事業債による防災・減災対策事業への継続的な財政支援
- 国土強靱化基本法の改正により、国土強靱化実施中期計画の策定および実行が法律で規定されたことから、国土強靱化実施中期計画に基づく取組が推進できるよう、必要な予算・財源の継続的・安定的な確保

【県担当部局】 総務部知事公室防災統括室

県土マネジメント部 企画管理室
大規模広域防災拠点整備課